

「院内で発症した脳卒中のリスクと服薬状況の実態調査」へのご協力をお願い

山口県立総合医療センター薬剤部では、臨床研究倫理審査委員会の審査を受けて、院長の許可のもとで下記の研究を実施しております。内容を確認していただき、研究の対象者に該当する可能性のある方で、研究の情報が用いられることを希望されない場合には、下記の問い合わせ先までお申し出ください。

研究課題名	院内で発症した脳卒中のリスクと服薬状況の実態調査
目的と意義	現在、脳卒中は死因の第4位で、介護が必要になった主な原因の第2位です。脳卒中のリスク因子として不整脈、高血圧、糖尿病、脂質異常、喫煙などが挙げられます。入院中に発症した脳卒中患者の服薬状況を調査して、リスクを評価し、今後の服薬指導につなげることを目的とし、今回の研究に至りました。
実施予定期間	臨床研究倫理委員会承認後～2024年11月30日
対象患者	2020年8月1日～2023年9月30日の期間中に山口県立総合医療センターで入院中に脳卒中を発症した患者様
方法	(1)心房細動による脳梗塞リスクを評価する CHADS 2スコアを参考に心疾患既往、高血圧症、75歳以上、糖尿病を各1点、脳梗塞・一過性脳虚血発作既往を2点とし、さらに脂質異常症1点、喫煙歴1点などを加えてリスクスコアを算出します。 (2)電子カルテ上の医師記録、持参薬報告、処方歴、薬剤師記録、看護記録から下記情報を抽出します。
使用する情報	年齢、性別、入院時の診療科・疾患名、入院目的、既往歴、処方歴、抗血栓薬の内服の有無、服薬状況、中止薬の有無、脳卒中発症までの在院日数、退院までの在院日数、脳卒中の病名、血栓溶解療法の有無、血管内治療の有無、転帰
個人情報の取り扱い	利用する情報から個人を特定できる情報は削除します。また、研究結果は学会等で発表を予定していますが、その際も個人を特定できる情報は利用しません。
利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
公表	学会での報告予定です。
実施体制	山口県立総合医療センター 薬剤部 山根桃佳（研究責任者） 山口県立総合医療センター 薬剤部 蔵田康秀 山口東京理科大学薬学部 医療安全学分野 相良 英憲
問い合わせ先	山口県立総合医療センター 薬剤部 山根桃佳（研究責任者） Tel.0835-22-4411(代表)